

# 令和5年度

## 第4回 人的資源の地域での活用研修会研修会報告

この研修会は、地域の人的資源を活用し、病院、在宅、介護現場で働く人たちの連携を促進・強化するとともに、根拠に基づいた知識・技術を習得し地域全体の看護・介護の質向上を図ることを目的として開催しました。

今回は、看護師、看護師、ケアマネジャーの方合わせて21名の方がご参加くださいました。

日時	令和5年11月22日(水) 14:00~15:15
開催場所	養護老人ホーム かたばみの家
講師	日本海総合病院 緩和ケア認定看護師 小野 早代 氏
開催内容	「緩和ケアにおける苦痛の緩和方法」 1. 緩和ケアにおける苦悩、苦痛の捉え方について 2. 苦痛症状マネジメントの基本的な考え方 3. 痛みとは 痛みの治療・ケアの目標について 4. 呼吸困難感とケア ケアについて演習 5. 痛みの閾値を上げるケア 講義・質疑応答
参加人数	21人

### I. 参加者について

#### 1. 職種

看護師	2人
介護士	9人
ケアマネジャー	5人
その他	5人
計	21人

#### 【その他内訳】

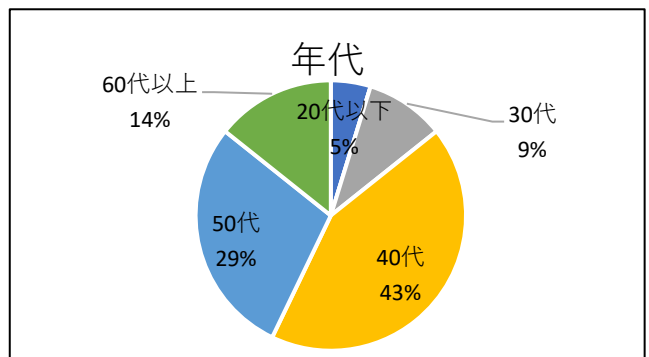
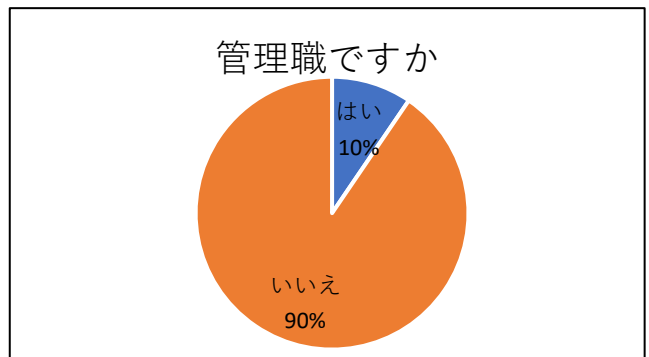
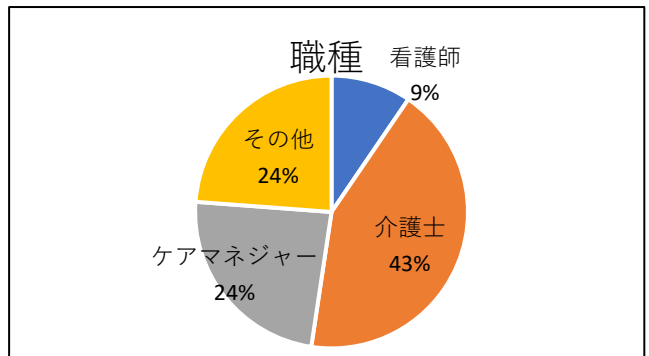
生活相談員 4名  
支援員 1名

#### 2. 管理職ですか。

はい	2人
いいえ	19人
計	21人

#### 3. 年代について

20代以下	1人
20代	0人
30代	2人
40代	9人
50代	6人
60代以上	3人
計	21人



## II. 研修会の内容について

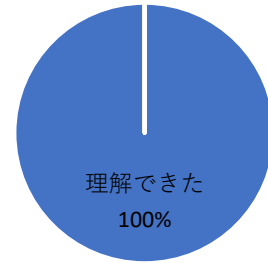
### 1. 研修会の内容は理解できましたか。

理解できた	21人
理解できなかった	0人
なんともいえない	0人
計	21人

#### 【理解できた】

- ・資料がたいへんわかりやすく、説明が丁寧で心に入ってきた。
- ・非常に分かりやすかった。

内容は理解できましたか。



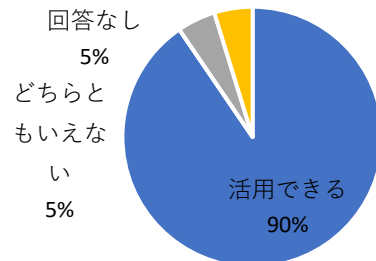
### 2. 研修会で学んだことは実践の中で活用できそうですか。

活用できる	19人
活用できない	0人
どちらともいえない	1人
回答なし	1人
計	21人

#### 【活用できる】

- ・呼吸は吐き出す方に意識を（勝手に吸える）
- ・具体的なケア方法を教えてもらい参考になった。
- ・スピリチュアルに目を向けることが必要だと参加した職員に気づいてもらえたと思う。

実践の中で活用できそうですか



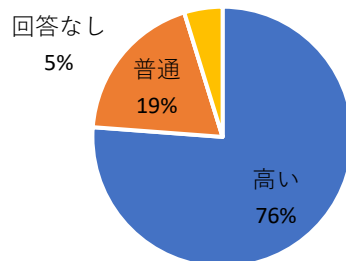
### 3. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	16人
普通	4人
低い	0人
回答なし	1人
計	21人

#### 【普通】

- ・タクティールケアなど時間があるときにクリームなどでやっていきたいと思った。

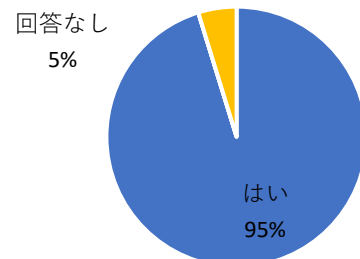
全体的な満足度はどの程度でしたか



### 4. 今回の研修会を受講してみて次回も利用したいと思いましたが。

はい	20人
いいえ	0人
どちらともいえない	0人
回答なし	1人
計	21人

次回も利用したいと思いましたが



### 参加者の皆さまからの声を紹介します

- 緩和ケアのみならず、普段から腰痛等痛みを訴えている方へのケアとしても非常に参考になった。
- 「タクティールケア」…資格を求められる時代ですが、日本には昔から「手当て」という素敵な言葉、文化があります。そのへん（言葉）も合わせて話していただくと既に自分がやっていることがいいことなんだ、と思える方が多くいると思う。
- 看取りもあり、参考にしたい。
- 在宅で痛みや苦しさを訴えられた時、少しでも安心できるアドバイスができるかなと思った。ぜひ、家族にタッチングケアを広めていきたいと思った。
- 現在、ガン末期の方を受け持っているので、研修内容が参考になった。
- 自分のケアを振り返り再確認できて良かった。
- 痛み以外にも身の置き所のない方への関わり方、へ緩和方法に良いと思った。
- ガンの方の担当をしているが、日々変化があるので対応を学べてよかった。
- 特にタクティールケアについて、関わりで通ずるところがあり参考になった。
- 日々様々な訴えがありますが、=本人にとっての痛み・苦痛と考え、緩和が図れることで心地よく生活できるように努めていきたい。
- とても分かりやすかった。実践していきたいと思う。
- 利用者に寄り添う援助を行っていく上で、今回学んだことを活かしながら今後も援助を行っていききたいと思う。
- 家族が入院した時に闘値について知っていたら、自分でも少しできる事があったんだと思った。

